



## 〈雑録〉市俄古市二於ケル電車従業員ノ同盟罷工

小林, 郁

---

(Citation)

経済學商業學國民經濟雜誌, 27(4):631-643

(Issue Date)

1919-10

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00053106>



## 市俄古市ニ於ケル電車

## 從業員ノ同盟罷工

在 米 國

文學士 小 林 郁

### 一

去ル七月二十九日ヨリ八月二日ニ亙ル市俄古市ノ市街高架兩電車從業員ノ同盟罷工ハ、其範圍ノ大ナルト將タ其因果ノ次第トニ於イテ之ヲ母國勞働界ノ現狀ニ照シ頗ル研究ニ値スル者アリ。同盟罷工ノ初マルヤ直チニ困難ヲ感ゼシハ公衆ナリ、廢シテ用キラレザリシ自轉車ハ悉ク運轉セラレ、荷車ニハ人ヲ滿載シ僅ニ以ツテ幾分ノ用ヲ足セルニ過ギズ、然カモ公衆ハ勞働者

不當ノ要求ニ因リ車賃ノ値上ヲセラレムヨリハ寧ロ苦痛ヲ忍ビテモ、之ニ克タムトシ歡喜ヲ以ツテ其日ヲ過シタリトハ、新聞紙ノ報ズル所ナルモ市民ノ之ガ爲メニ蒙リシ損害ノ多大ナリシハ、モトヨリ云フ迄モ無シ。時恰モ白黒人間ノ大爭鬭ヲ惹起シタリシカバ、市全般ハ益々混迷ノ中ニ陷リス。此クシテ暗黒裏ニ在ル者前後四日ノ後市民ハ再ビ曙光ヲ見ルニ至レリ。今之ガ顛末ヲ報ゼムニ之ヲ次ノ三期ニ畫スルヲ得可シ。

第一期 發端ヨリ同盟罷工ノ決議迄

第二期 同盟罷工ノ實施ヨリ其終了迄

第三期 結末

### 第一期

事ノ發端ハ、市街並ビニ高架電車ノ從業員ガ若シ容レラレザレバ、同盟罷工ヲ起ストノ怒嚇ヲ以ツテ、七月十二日、會社ニ對シ、賃銀ノ値上ヲ請求セルニ初マル、其條件左ノ如シ。

「兩會社ノ從業員全股ニ互リ、即チ高架鐵道ノ

切符賣、鐵路係、交通係其他一切ニ互リ在來ノ  
賃銀ノ七十セバ―セントノ増額」之ヲ更ニ詳ニ  
スレバ次ノ如シ。

- 一、市街電車ノ運轉手並ニ車掌ハ、在來一時間四十八仙ナリ  
シヲ八十五仙トスル事、即チ一日二弗九十六仙ノ増額
- 一、高架電車ノ運轉手ハ一時間五十仙ヲ八十七仙トスル事
- 一、全車掌ハ四十五仙ヲ八十二仙ニ
- 一、其他ノ從業員ハ双方ヲ通シテ、一時間三十七仙ノ増額
- 一、一日八時間労働、一週六日間ノ労働、之レ全般ノ作業員  
ニ然ル事。

定時外ノ労働ニハ一倍半ヲ支拂ヒ、八割ハ直通ノ電車タル  
事、殘餘ハ繼續セル十時間以内トス。

- 一、電車ノ運轉ハ必ズ、一日八時間ノ給料以下ナラザル事
- 一、賃銀値上容レラレザル時ハ、同盟罷工七月二十日頃ニ  
生ズ可キ事。

其理由トスル所左ノ如シ。

市俄古ノ電車從業員ハ、其賃銀極メテ低下ナリ、市中ノ掃  
除人ノ賃銀モ之レ以上ナリ、普通労働者ノモ亦然リ、而シテ  
吾人ノ職業ハ、更ニ大ナル能率ヲ要ス、最近六ケ年ノ政府ノ  
報告ニ因レバ、生活費ハ食物丈ニテモ六割ヲ増シタリ、然ル  
ニ此間ニアリテ、當市ノ電車從業員ハ僅ニ五割ノ増額ニ過ギ  
ズ云々。

而シテ、委員ハ右ノ提出條件ヲ結ブニ左ノ言  
ヲ以ツテセリ。

吾人ハ以上ヲ吾人最良ノ思考並ビニ判斷ノ結果トシテ、諸  
君ノ熱慮採用セラレムガ爲メニ提出ス、且ツ委員諸君ハ之ヲ  
各會社(市街並ビニ高架)ニ直チニ傳達セラレム事ヲ勸ム。  
若シ會社ガ適當ナル方法ヲ施シテ、尙且ツ之ヲ斥ケザル可カ  
ラザル時ハ、役員ハ更ニ事情ヲ市長其他ノ官憲ニ通ジ、且ツ  
各部會會員トノ「レフエレンダム」ヲ行ヒ、吾組合ノ規則ニ從  
ヒ作業中止ノ投票ヲ行フ可シ云々。

以上條件ノ成上ハ、前夜市街並ビニ高架電車  
ノ作業員凡ソ六千五百人會合シテ決議セル者ニ  
シテ、米國聯合市街並ビニ電車鐵道作業員組合  
總會計ブランド氏ガ之ヲ讀上ゲシ時ハ、滿場歡  
呼ノ聲ヲ以ツテ迎ヘラレシ者ニシテ、其案ハ、  
市街並ビニ高架電車員ノ聯合委員會ノ決定セル  
者ニシテ、前週會合セル時ノ過激派ノ要求即チ  
一時間八十仙ヨリモ更ニ甚シキ者ナリ。

越エテ、十五日、兩會社共ニ右ノ要求ヲ拒絕  
シタリ、然カモ尙交渉ノ餘地ヲ存シヌ。其申條

ハ、右ノ要求ヲ容レムガ爲メニハ、市街鐵道ハ一ヶ年一千三百萬弗ノ收入ヲ増サバ爾可カラズ之レガ爲メニハ電車賃ヲ九仙乃至十仙トセザル可カラズ、高架ハ五百萬弗ノ増入ヲ必要トス、(然シ之ガ爲メニ必要ナル電車賃ノ事ハ之ヲ述ベズ)且ツ客年八月戰時勞働委員會ハ、年三百七十萬弗ノ貸銀増額ヲ爲シタルナリ。

市街電車會社社長レオナード・バスビー氏ハ長文ニ互ル返翰ヲ役員ニ致シ且ツ之ヲ新聞紙ニ公ニシタリ。上述ノ事項ハ實ニ其一部ニシテ、文中更ニ、他ノ諸市ト比較ヲ試ミス。其要領左ノ如シ

市俄古ト生活費ノ程度ヲ同ウセル、デトロイト、クリーヴランド、ヒツパークノ諸市ニ於ケル事實ニ徴スルニ、デトロイトニアリテハ、客年六月十二日、同盟罷工ノ結果貸銀チ一時日六十仙ト爲シ、クリーヴランドハ本年七月七日、同シク六十仙ト爲シ、ヒツパークモ亦同額ヲ要求セリ。若シ夫レ、八時間勞働ニ至リテハ不可能ナリ、電車ハ毎日一定數ノ運轉チ爲サル可カラザレバナリ。

結文ニ曰ク「要求セラレタル貸銀ハ、市俄古ト類似ノ何レノ市ノヨリモ甚シク高額ナリ」。

(註) 電車從業勞働者總計一萬五千人、中市街電車ニ從事スル者一萬八百人。

(註) 電車賃ノ値上ハ、公益委員會ノ賛成ヲ經ザル可カラズ、而シテ、勞働者側ノ要求スルガ如キ巨額ノ増加ハ、到底其容ル、所トナラザルハ、社長ノ知ル所ニシテ、實ニ一時間六十仙ト爲スハ其主張ナリ(後ヲ見ヨ)。

之ニ對シ、市街電車從業員會長キンラン氏ハ十六日夜次ノ意味ノ告文ヲ爲シヌ。

吾人ハ會社ノ態度ヲ遺憾トス、云々、且ツ又曰ク、豫テ示ス所ニ從ヒ、來ル十八日作業中止ノ件ニ關シ總會ヲ開カム云々。

而シテ、總會ハ開カレタリ、市街電車從業員ノ會スル者一萬十六人中同盟罷工ニ反對ノ投票ヲ爲ス者僅ニ四百三十五人他ハ悉ク賛成ナリ。高架電車員三千五百人反對投票僅ニ三十八人他ハ悉ク賛成ナリ。

此結果ハ直ニ全米國組合會長マホン氏(現ニポストンニ在リ)及ビ其重役九人ニ電達シ、同

盟罷工實施ノ時日決定ノ許可ヲ求メ、且ツ月曜  
日ノ夜ヲ期シテ更ニ大會ヲ開キ、土曜日ヲ以ツ  
テ實施ノ日トセム豫定ナリ。

之ヨリ先、當イリノイス州知事ラウデン氏事  
變ヲ聞イテ首府スプリングフィールドヨリ出市  
シ形勢ヲ觀望シ居リシガ、事之ニ至ルヤ乃チ敢  
然トシテ陣頭ニ立チ、自ラ調停ノ舉ニ出デヌ、十  
九日氏ハイリノイス州公益委員ニ書ヲ致シ事件  
ノ調査ヲ求メシ者即チ之ナリ。其全文左ノ如シ。

當州公益委員議長殿

市俄古市街並ビニ、高架鐵道ノ使用人が賃銀問題ニ關シ同  
盟罷工ノ將來スル恐ル可キ危險ハ余ノ注意ヲ促シヌ。之レ市  
俄古市民ノミナラズ、現今ノ如キ産業ノ困厄セル狀態ニアリ  
テ當州全般ノ人民ニ關スルノ事ナリ。

當市長ハ既ニ市參事會ノ決議ニ從ヒ、委員ヲ任命シ事件中  
ニ存スル諸問題ヲ攻究セムトスト。

公益條例ニ從ヘバ、公益委員ハ、知事が指示スル時毎ニ公  
益ノ事情並ビニ其運用ニ關シ特殊ノ問題ヲ調査シ、書面ヲ以  
ツテ之ニ關スル意見、並ビニ其理由ヲ知事ニ具申ス可キヲ規  
定シアリ。

故チ以ツテ、余ハ公益委員ガ市街並ビニ高架線ノ運用ノ賃  
銀上ノ係争ニ關スル事實ヲ調査シ、之ヲ余ニ報告シ且ツ之ト  
併セテ、州ガ、出來得可クムバ、此將ニ來ラムトスル同盟罷  
工ヨリ生ズル公益ノ損害ヲ回避セムガ爲メニ、地方官ト最適  
好ニ協同スル方法ニ關シ其意見ヲ求ム。

公益委員議長デムシー氏ハ此時人ニ語リテ曰  
ク、

本件ハ結局吾等委員會ニ回附セラル可キノ者ナリ、故ニ知  
事並ビニ委員ハ共ニ、事件ガ一層紛糾セザルニ先チテ、之ヲ  
取ラムトス。サリトテ勿々ニ事ヲ決セムトニハアラズ、雇主  
使用人並ビニ公衆ニ均シク正義ヲ行ハザル可カラズ云々。

上述ノ知事ノ示命ニ從ヒ公益委員會ハ二十一  
日(月曜日)午前十時ニ開催スル事ニ決シヌ、之  
レ實ニ市長ノ任命セル委員會ノ開會ニ先ツ二時  
間ナリ。而シテ、本會議ニハ、高架線使用人組  
合長マイラン氏並ビニ市街線使用人組合長キン  
ラン氏モ共ニ參會ヲ求メラレヌ。

愈當日ノ會議ニ於イテ、マイラン及ビキンラ  
ンノ二氏ハ、八時間勞働並ビニ定時外ノ服務ハ  
一倍半ノ賃銀ト爲スノ件ヲ先ヅ決セザル可カラ

ザルヲ主張シタリ。正午ニ開カレシ市長委員會席上ニテモ二氏又同様ノ言ヲ繰返シヌ。而シテ公益委員會ハ午後再ビ開催セラレシガ、兩氏其言ヲ改メズ。事件ハ遂ニ不調和ノ中ニ會ハ閉ラレヌ。

此クノ如クニシテ交渉スル者三日ニ互リ、二十四日ニ至リ、遂ニ前記二氏ハ、市街電車長バスピー氏並ビニ高架電車長パッド氏ニ告グルニ吾人ノ要求ニシテ容レラザル限リ此上交渉ヲ繼續スルノ無用ナルヲ以ツテ、賃銀問題ハ上記ノ件ノ解決セラル、後ニアラズムバ、之ヲ討議セズトノ言ヲ以ツテセリ。

二十五日、組合委員、會社役員並ニ公益委員トノ第一回聯合會議開催セラレ翌日ノ新聞紙ハ均シク、其前途ヲ樂觀シタリ。其會議ハ前後六時間ニ亘リ、使用人賃銀値上ノ出途ニ關シ主トシテ議ヲ凝シ、翌朝再ビ開會ヲ約シテ散ジタリ。此時、バスピー氏ノ爲セル提言ハ書面ヲ以ツテ

セラレ且ツ之ヲ新聞紙ニ公表セラレタリ、其要領左ノ如シ。

先ッ吾人ノ忘ル可カラザルハ、此際賃銀ノ値上其他ノ勞役一切ノ事ニ關シ、其ノ負擔ハ一切公衆ノ上ニ懸ルノ一事ニアリ、彼我何レノ主張ト雖正理公明ナラザル可カラズ。

一、賃銀 使用人諸君ノ要求ハ電車運轉手並ビニ車掌ハ現在ノ最高給四十八仙ヲ八十五仙ト爲シ、爾餘ノ使用人ハ皆相當ノ増額ヲ爲スニアリ。吾人ノ要スル就役ハ、電車ニ從事スル者二五、七七五、〇〇〇時、其他ノ者一一、一二二、〇〇〇時即チ總計三六、八八七、〇〇〇時チ一ケ年ニ要ス。一時間ニ對シ一仙チ増額スレバ、一ケ年三六七、七五〇弗ノ増加トナリ、諸君ノ要求ハ七割七分即チ、一時間三十七仙ノ増額ニアリ、即チ一ケ年費用ノ増加一三、〇〇〇、〇〇〇弗ヲ超ユ。

一時間ノ最高給六十仙トスレバ、電車運轉手並ビニ車掌現在ノ最高給ノ二割五分ノ増額ナリ、之レ市俄古ノ物價騰貴ニ對シ十分ナリ、而シテ他ノ諸市ノ賃銀表ヨリシテ之ヲ見テ、諸君並ビニ公衆ノ双方ニ公平ナル者ナル可シ。

二、服務規定 諸君ハ、過日ニ八時間、日曜、祭日ニ六時間ノ服務ヲ要求シ、且ツ規定時間外ノ服務ニハ、一倍半ノ賃銀ノ支給ヲ求ム。一日八時間ノ服務ハ簡單ナル者ノ如シ、然シ之ヲ、八時間以内運轉セル者ニモ八時間、丈ノ賃銀ヲ支給セ、又運轉ハ十時間ヲ超過ス可カラズ、且ツ規定以外ノ服

役ハ、一倍半ノ支給ヲ爲サル可カラズトノ事ト結付ケテ考察スルニ當リテハ、事態頗ル面倒トナル。

諸君ノ要求ニ從ヘバ、吾ガ電車運轉手並ビニ車掌ノ大數ハ、四時乃至五時間ノ服務ニテ、八時間ノ賃銀ヲ受クル事トナリ、六十仙ノ賃銀ニテ、公衆ノ負擔額ハ一時間九十五仙ヨリ一弗二十仙トナル、今諸君ノ要求スル一時間八十五仙ヲ容レムカ、公衆ノ負擔額ハ、一時間一弗三十五仙ヨリ一弗七十仙トナル。諸君ノ要求ニ正理無ク公正無シ。會社ハ人員ノ多數ガ特ニ入用ノ時刻ニハ、此カル少時間服務ノ人員ニ對シ八時間服務ノ規定ヨリ自由ナラザル可カラズ。且ツ服務時間以外ノ作業ニ關シテモ亦然リ、電車ハ少數ノ割合ガ八時間ノ運轉ト定ムルヲ得可キノミ。

吾人ハ先ニ諸君ノ服務時間ノ規定ニ基キ、一時間六十仙ノ割合ヲ以ツテ時間表ヲ作製チ見タリ、其結果ハ此カル少時間者ニ八時間支拂ヒ、且ツ時間外ノ一倍半ノ支給ノ費用ハ一ケ年五、〇〇〇、〇〇〇弗以上ナルヲ見タリ、而シテ公衆ハ之ガ爲メニ何等ノ利益ノ得ル所無シ、而シテ其中ニハ日曜日、祭日ノ時間外ノ費用ヲ加算セズ。

高架電車長バッド氏ノ答辯之ト相似ル、今之ヲ略ス。

之ニ對シ、組合員ノ答辯左ノ如シ。

吾等委員ハ公益委員ノ示命ニ從ヒ動作シアリタリ、シテ而

組合委員長モ、將タ又會社委員モ共ニ何事モ印刷物ニ公ニス可

カラズトノ事ハ吾等ノ默契スル所タリ。

此事ハ、公益委員議長ニ任ス可キナリ、然ルニ何事ゾ、今夕八時通市俄古市街電車長パスビー氏ガ長文ヲ公ニシ、以ツテ吾ガ組合ヲ難シ、吾ガ立脚地ヲ批評シ且ツ八時間服務ガ會社ニ及ボス費用ヲ示シ、且ツ吾ガ八時間服務ノ要求ガ啗フ可ク且ツ不條理ノ者トノ印象ヲ人ニ與ヘシメムトハ。

吾人ハ使用人側ヲ代表シテ公衆ニ告ゲムトス、吾人ハ唯事實ヲ取扱ヒ、正當ナリト認ムル問題ニ答フルノミナリト。新聞社ヨリ、電話ニテ簡單ニパスビーノ申條ヲ告グラレタル丈ナレバ、詳細ナル事ハ言ヘザレドモ、吾人今氏ニ答フル所左ノ如シ。

氏ハ八時間規定ノ結果、會社ガ四、〇〇〇、〇〇〇弗ノ費用ヲ増シセルモ、事實ハ次ノ如シ。パスビー氏ガ數年間言ヘル所ハ、氏ノ會社ハ、一日二十四時間ノ繼續ノ者ナリト、從ツテ、カカル鐵道ニハ八時間服務ハ、論理的ノ一日服務ナルノ事ハ容易ニ之ヲ知ラム。

之ヲ事實ニ徴スルニ、規定時間外ノ服務時間ハパスビー氏ノ言ノ如ク、八時間以内服務者ニ對シテ過分ニ支拂フ金額ノ半額ニ達スル者ニアラズ。八時間服務ノ表ヲ適當ニ實行スレバ、規定時間外服務ニ對シ支拂フ金額ハ之レアリトスルモ極メテ少額ナリ。

パスビー氏ハ、三六、〇〇〇、〇〇〇時限分ヲ支拂ハザル可

カラズトス、然ルニ之ヲ事實ニ徴スルニ、二八、〇〇〇、〇〇  
〇時限ヲ要スルノミ。

會議ニ際シ吾人ハ、吾人ノ能力ヲ致シテ、公益委員ニ事實  
ヲ提供シタリ。吾人ハ、市俄古市ノ男女勞働者ノ大部分ノ享  
受セル者以外ヲ要求セズ、其實銀ノ如キ吾市民諸君幾千人ノ  
受クル者ヨリモ遙ニ低下ナリ。

吾人ハ引續キ吾人ノ立場ヲ公益委員ニ示シ、引續キ會社側  
ノ人士ノ言説スル所、刊行スル所ノ如何ニ係ラズ、能力ノ存  
スル限り、事件ヲ名譽ト平和ヲ以ツテ、解決セシメム事ヲ期  
ス。

#### 委員全部署名

ウイリアム・キンラン

ダブリウ・テーパー

(下略)

今ヤ事件ハ轉ジテ、州知事ヲ中心トシテ進行  
セムトス、即チラウデン氏ノ要求ニ從ヒ二十八  
日午前十時ヲ期シテ、組合委員ハ公益委員ト會  
議ヲ開カムトス、之ニ先チ、其前日ハ問題ニ關  
係アル諸方面ノ人士ラウデン氏ノ所ニ參シ凝議  
シタリ、ラウデン氏ハ實ニ會議ノ舵手タリ、種  
々ノ案出サレシガ、之ヲ約シテ、最後ニ纏リシ  
ラウデン案ナル者ハ左ノ如シ。

一、市街電車賃(在來五仙ノ通シ)ヲ七仙ニ値上シ、且ツ多分  
乗換毎ニ一仙ヲ徴收スル事。高架電車賃(六仙)ヲ八仙トス  
ル事(乗換賃無シ)。

一、市街電車員ハ、在來一時間四十八仙ヲ受クル者ハ六十五  
仙ヲ受ケ。其他ノ者ハ總テ十七仙増額。

一、一日八時間服務ニシテ、時間外ノ服務ニハ、一倍半ノ増  
額。

一、運轉ノ六割ハ八時間以内ニ終ル事。

一、運轉ハ一切十四時間以内ニ終ル事。

一、高架電車員ハ、左來一時間五十仙受クル者ハ六十七仙受  
クル事、爾餘ノ者ハ十七仙ノ増額。

一、一日八時間服務時間外ノ服務ハ一倍半ノ増額。

一、運轉ノ七割ハ八時間以内ニ終ル事。

一、運轉ハ一切十三時間以内ニ終ル事。

而シテ、以上ノ案ハ、結局市街並ビニ高架電  
車長ノ承認スル所、而シテ、勞働者側モ無論之  
ニ同意シタリ。

事件ハ其前途頗ル有望トナレリ問題解決ノ日  
期シテ待ツ可シトハ人ノ一般ニ豫想セル所タリ  
然ルニ事之ニ反シ急轉直下人ノ意表ニ出デヌ。

之ヨリ先キ、勞働者側ニテハ二十八日夜ヲ期

シテ、其總會ヲ開クノ事ヲ決議シアリタリ、適々ラウデン案ナル者生レ出デシガ其如何ニ係ラズ之ヲ實行セムトストハ前日役員ノ人ニ語リシ所ニシテ、實ニ此案成立以前ノ豫定タリシナリ。

豫定ノ如ク總會ハ開カレタリ、會スル者八千人、聯合組合會員ブランド氏演壇ニ立チ事ヲ議ス、而シテ氏述ベテ、彼我ノ同意セル賃銀(六十五仙及六十七仙)ノ所ニ至リ「之レ全世界ヲ通ジテ、電車員ニ支拂ハレタル最高額ナリ」ト言フニ及ビケヤ、嘲笑怒罵ノ聲四方ニ起リ、如何トモス可カラズ。少時ノ後ブランド氏更ニ語ヲ續ケテ曰ク、「諸君記憶セヨ、吾人ハ本事件ヲ以ツテ會社ト爭ヘルニアラズ、市俄古ノ公衆ト爭ヘルナリ」ト。會衆之ヲ耳ニスルヤ、「公衆何カアラム」ト復ビ叫ビス。

ブランド氏モ遂ニ匙ヲ投ゲ席ニ着キ、其他ノ役員亦如何トモスル能ハズ。會衆ハ更ニ車掌ノ一人ヲ演壇ニ推シ上グヌ、其人曰ク、公表セラ

レタル數字ハ誤レリ、市街電車賃ヲ七仙ニ値上スレバ、毎年一四、〇〇〇、〇〇〇弗ヲ生ズ、而シテ、吾等使用人ハ一三、〇〇〇、〇〇〇弗ヲ請求セルニ過ギズ。

次イデ、役員ヨリ翌々日「レウエレンダム」ヲ行ハムトノ提案ハ、雷ノ如キ「ノー」ノ聲ニテ敗ラレス。

公衆ニ四十八時間、次イデ二十四時間ノ猶豫ヲ與フ可シトノ提言モ亦斥ケラレ、一人立チテ、「明朝四時ヨリ」ト言フヤ、投票スル事モ不必要トナリス、満場ノ賛成ヲ得タレバナリ。組合長キンランモ遂ニ同盟罷工ヲ承認スルヤ、彼等ハ氏ヲ肩ニ擁シテ室内ヲ廻レリ。

キンラン及マイラン(高架組合長)ノ二氏ハ直ニ電報ヲマホンニ送レリ、其文左ノ如シ。

今夕ノ會合ニ於イテ、會衆ハ、明朝四時ヲ期シテ、事業中止ノ決議ヲ爲セリ、委員ノ提案ハ斥ケラレ、中止ノ命ヲ下セリ。初メ此會議ニ先チ、午後七時人々ラウデン氏

ノ許ヲ辭スルニ當リテヤ、組合役員モラウデン案ガ總會ニ容レラル、ヲ信ジタリ。組合役員ハ初メ七十仙ノ賃銀ヲ要求シ暫クノ間其レヨリ下グル事ヲ激シク反對シタリ、然シ遂ニラウデン自ラ之ヲ計算シ此クシテハ公衆ノ蒙ル負擔ノ甚シク加ハルヲ説クニ及ビ、彼等モ其案ニ同意シタリシナリ。

斯カル良案モ遂ニ總會々衆ノ容ル、所トナラザリシハ、全ク八十五仙ヲ唱フル過激派ノ勢力ヲ得シ結果ナリ。

## 第二期

同盟罷工ハ豫定ノ如ク二十九日ヨリ實施サレタリ、此時聯合組合長マホン氏ハデトロイト市ニ在リシガ電話ヲ以ツテ事件ノ要領ヲ報ゼラレ氏ハ翌朝八時頃市俄古ニ着シヌ。即チ午後二時組合委員諸氏ト會議シ午後四時ヨリ知事ラウデン氏ノ許ニ馳セ、他ノ人々ト議ヲ凝シヌ。其結果ラウデン案ニ本キ八月一日ヲ期シ、「レフエレ

ンダム」ヲ行フニ決シタリ。此間ニ處シテ關係者方面ヨリ一般ニ事實ノ真相ヲ公告シタリシガ就中キンラン以下ノ役員諸氏ノハ、先日ノ總會ガ二三、百少數ノ過激派ノ支配スル所トナリ、一般人士ハ遂ニ如何トモスル能ハザリシヲ述べ。先ニ會社側ガ會議中ノ事ヲ公表セザリシナラバ此カル事ハ生ゼザリシナル可シトシ。今ヤ多數人士ノ要求ニ從ヒ、日ヲ期シテ「レフエレンダム」ヲ行ハムトナリ（遂ニ之レ八月一日舉行ニ決ス）。

マホン氏ハ又語ヲ盡シテラウデン案ニ賛成ス可キヲ説キ、若シ之ニ從ハズムバ、組合其者ガ解體スルニ至ラムト熱心ニ遊説セリ。

其結果ハ好個ノ成績ヲ示シヌ、組合員一萬五千人ノ中投票セル者一二、三三四、而シテ贊成者六、三六〇反對者五、九七四ナリ、即チ三八六票ノ多數ニテ前者ノ勝利トナリス。

此クシテ同盟罷工ハ八月二日午前五時ヲ以ツ

テ終了シ、電車ノ運轉ハ舊ニ復シヌ。然リト雖事此ニ至リシハ、全ク高架鐵道員ノ多數ガ贊成シタル爲メニシテ、市街鐵道ノ分ハ、過激派依然勢力ヲ有シ其熱烈ナル運動ハ過半数ヲシテ、反對ニ投票セシメタリシナリ。

### 第三期

事件ハ進捗シテ第三期ニ入レリ、如何ニシテラウデン案實行ノ財源ヲ得可キカ、換言スレバ電車賃ヲ幾何ニ値上ス可キカ、且ツ之ニ伴フ法律問題、即チ之レ此期ノ問題トスル所ナリ、双方ノ會社ヲ通ジテ總計年額八百萬弗ノ增收ヲ圖ラザル可カラザルナリ。

八月四日、高架鐵道並ビニ市街鐵道員ハ公益委員ノ所ニ馳セ集マリ之ガ相談ヲ凝シヌ。高架鐵道ヨリハ諸案ヲ提出シタリ、市内ヲ十仙、八仙若シクハ九仙トシ、市外ハ北部ハ十五仙、西部ハ十二仙、市外丈ハ七仙トス。市街鐵道ハ七仙トセムトス。

之ニ際シ、市廳ノ代表者クリーヴランド氏ハ極力抗爭シタリ、其理由トスル所ハ兩會社共ニ其理由ヲ示ス可キ事實ヲ載セル帳簿ヲ提出セザルニアリ。會議ノ初ニ當リ氏ハ大ニバスビー氏ト爭ヒ、會社ハ一九〇七年ノ電車賃五仙ノ指定ニ尙從フ可キヲ説キ、之ガ値上ハ人ヲシテ下町附近ニ居ヲ移ス可シト云フ。

而シテバスビー氏ガ、會社ノ財政困難ノ事情ヲ説キ、客年ノ改正ハ三、〇〇〇、〇〇〇弗ノ費用ヲ高メ、(賃銀ノミニテ)材料ノ費用ハ四〇九、三六六弗ヲ加ヘ、收入一、九三六、〇〇〇弗ヲ加ヘシモ、支出ハ四、五五四、五七一弗ニ飛ビタリト云ヘリ。クリーヴランド氏ハ之ニ抗爭スルノ準備無ク當日ハ之ニテ終リス。(高架鐵道ノ分モ類似法律的ニ)故今略之。

五日復ビ會議ヲ開キ、愈々八月八日午前十二時〇一分ヲ期シテ。左ノ如ク値上ヲ決定セリ。

一、市街鐵道

大人

七 仙

小 兒(七歳ヨリ十二歳迄)

四 仙

一、高架鐵道

市内(大人)

八 仙

エヴァンストン迄(全)

十四 仙

オークパーク迄(全)

八 仙

エヴァンストン管内(全)

六 仙

然シ之ニ對シ、クリーヴランド氏ハ、市廳ヲ代表シテ、市廳ハ、公益委員ガ此カル事ヲ公開セズシテ決定スルノ越權ナリトノ理由ノ下ニ訴訟ヲ提出セムトスト云ヘリ、而シテ、鐵道ノ公財產ヲ沒收セムト。然シ、バスビー氏ハ其ノ公表セル書面ニ依リ、公衆ハ此事ヲ了知セルヲ云フ。

兎ニ角市長トムソン氏ハ遂ニ之ヲ訴訟スルニ至ラズ。

右ノ電車賃値上ハ一時的ノ者ニシテ、一千九百二十年二月一日迄有効ノ者ナリ。而シテ、十分ノ調査ハ、市街鐵道ノ分ハ九月八日ヨリ、高

架鐵道ノ分ハ同十七日ヨリ開始シ、以ツテ電車賃ヲ決定セントス、之ガ爲メニ要スル日子ハ今ノ所未定ナリ。

之ニテ、市俄古市電車ノ同盟罷工モ一段落ヲ告グス。

二

上述ノ同盟罷工ノ事實ヲ考察スルニ之ガ原因ト見ル可キ者次ノ四者アリ。

一、生活費暴騰 戰時ヨリ引續キ戰後ニ於ケル生活費ノ暴騰ハ殆ンド其底止スル所ヲ知ラズ世界ヲ舉ゲテ人々之ニ苦シム、殊ニ米國ニ在リテ甚シク、其結果勞働者ハ賃銀ノ値上ヲ要求シ之ガ容レサレザルヤ最後ノ手段ニ出ヅルニ隨處同盟罷工ヲ行フアリ。此ヲ以ツテ、本月十三日ニハヒツバーグ市ニ電車員ノアリ、十七日ニハ紐育市ニ高架鐵道並ビニ地下鐵道ノアリ、ロサンデエレス市ニモ亦之レアリ。其他電車以外ノ

者ハ之ヲ大ニシテハ全米國鐵道作業員ヲアリ、其他市俄古市ニテハ、ストクヤードニアリ、ハムモンドニテハ、製鐵所ニ之レアリ、其他小ナル者ニ至リテハ、市俄古ノ俳優大工等頻々トシテ枚擧ニ遑アラズ。

人ハ戰後ノ改造ヲ唱へ、其來ル可キ經濟的困阨ヲ豫知セルモ、之ニ對スル施設如何ヲ知ル能ハザルニ、事實ハ續々トシテ進行シ、如上ノ有様ヲ呈ス。資本案對勞働者ノ問題ハ何モ今日ニ初リシニアラザルモ、今ヤ其紛糾極度ニ達セルアリ。此ク一方勞働者側ノ劇烈ナル要求アルニ資本案モ亦之ヲ要求ス、此ヲ以テ市俄古市ニ電車員ノ同盟罷工アルヤ、クリーヴランド市ニテハ復ビ車賃ノ値上ヲ行フ(先ニ上ゲシニ)。人アリ其額ガ市俄古ノヨリ高キヲ難ゼルニ、社長之ニ答ヘテ曰ク、生活費ノ暴騰ハ、株主ヲシテ在來ノ利益配當丈ニテハ到底生活ヲ維持スル能ハザラシム、更ニ多額ヲ要ス、株主モ亦人ナリト。

此ニ於イテ余輩愈々事ノ面倒ナルヲ見ル。

二、會社側ニテ先ヅ値上セザリシ事 生活費ノ昂騰ハ此クノ如キノ事實ナルガ故ニ從業員ヨリノ要求ハ必ズ來ル可キ底ノ者ナル可キヲ以ツテ之ニ先チ會社側ヨリ値上セシナラバ或ハ此ク法外ノ要求無クシテ濟ミシヤモ知レズ、然シ世ノ一般トシテ要求アリテ然ル後之ニ應ズル有様ナレバ、政策トシテハ其可否何レニアリヤ、余今匆々ニ之ヲ斷ズル能ハズ。

三、會社側ノ不當利得 市街鐵道(高架モ)其帳簿ヲ明示セズ。此ヲ以ツテ、勞働者委員モ賃銀ノ値上ハ電車賃ヲ値上セズシテ可能ナリトシ後ニクリーヴランド氏モ之ヲ攻撃シテ止マザリシナリ、此處頗ル疑ヲ存スルニ足ル。

四、感情的 バスビール氏ノ勞働者側ト會談セル顛末ヲ公表セル事ハ痛ク後者ノ感情ヲ害ヒ之ガ動機トナリテ遂ニ同盟罷工ノ決議ヲ生ズルニ至ル、殊ニ總會當日ノ有様ノ如キ全ク群集心

理ノ支配スル所トナリ了リス。

然リト雖感情ハ一時的ノ者ニシテ最後ノ勝利ハ理性ニアリ、遂ニ「レフレダム」ニ依リ、舊ニ復スルヲ得タリ。之ヲ要スルニ今回ノ事件ノ纏リシハ、一方ニハラウデン氏他方ニハマホン氏ノ功ニ歸セザル可カラズ。

之ヲ通觀スルニ、今回ノ同盟罷工ハ、實行セルトノ事丈デ無ク、之ヲ其當初ヨリ見テ、勞働者側ノ勝利ニ歸シタリト言テ可ナリ。然シ此カ所以ノ者ハ其組合ニ人材アリテ克ク他ト折衝スルニ足リ、且ツ大ナル組合組織アリテ罷工中善ク物資ノ供給アルヲ得セシムルニ依ル。今ヤ故國生活狀態益々困難トナリ、同盟罷工隨處ニ蜂起スト、然カモ之等勞働者果シテ克ク其初志ヲ貫ク事此國ニ於ケルガ如キ設備アリヤ否ヤ、吾之ヲ疑フテ止マザルナリ。(八月二十六日、市俄古市ニテ記之)。